



10月
18日

干支の木目込み人形づくり



**一足早い正月準備
 新年の幸を願って
 丹念に制作**
 守山公民館講座で、2021年の干支「丑」の木目込み人形づくりが行われ、16人が参加しました。
 参加者らはそれぞれ大きさやポーズの違うお気に入りの作品制作に取り組み、細やかな作業に集中していました。同講座では毎年この時期に干支の木目込み人形づくりを開催し、今年は5回目。参加者らは12の干支を揃えたいと話していました。

10月
17~19日

かぼちゃのお菓子入れを作ろう



**かぼちゃのお菓子入れで
 ハロウィン楽しむ**
 守山宿・町家「うの家」でハロウィンにちなんだ「かぼちゃのお菓子入れを作ろう」が実施されました。
 親子連れなどがカボチャに見立てたお菓子入れづくりを楽しみました。17日には、完成したカボチャのお菓子入れを持参して近隣の商店に「トリック・オア・トリート」と声を掛けると、お菓子がもらえるハロウィンイベントも行われました。

10月
27日

町家でハロウィンパーティー



**かわいい衣装と
 ハロウィン飾りで
 盛り上がり**
 守山宿・町家「うの家」でハロウィンパーティーが行われ、未就園児親子らが集まりました。
 市民グループ「ぼんぼこぼん」が主催したもので、かわいい衣装で仮装した親子らは、カボチャの紙芝居やハロウィングッズの飾りを作り、ママと一緒に魔女にふんしたスタッフからお菓子をもらうなどして遊び、ハロウィンを満喫していました。

10月
22~29日

市美術作家協会 創立30周年記念展



**市内の美術作家
 会員の作品一堂に
 36人52点がずらり**
 市美術作家協会は創立30周年を迎え、市民ホール展示室で会員36人による記念展覧会を行いました。
 記念展覧会では日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の作品52点が展示され、各会員の個性や技術を披露しました。会場を訪れた市民からは、1点1点熱心に鑑賞していました。
 また、発行された30周年記念誌は、各公民館や市立図書館で閲覧できます。

守山市の人口
 令和2年10月31日現在
 (前月比)

人口	84,342 (+ 211)
男	41,614 (+ 97)
女	42,728 (+ 114)
世帯数	33,292 (+ 94)

双眼鏡

私のおじいちゃんは認知症で、さうき言ったこともすぐ忘れてしまう。「ただいまのあいさつの後から」「いつてらっしゃい」と言われることも少なくない。自分の歳も覚えていないし、ここ数年の出来事はほぼ忘れられてしまっている▼そんなおじいちゃんがある日、「市役所から帰ってきたのか」と私に聞いた。最初は驚いたが、1カ月が過ぎ、このころは私の所属課まで言えるようになった。採用されてから半年、おじいちゃんは私が市役所職員であることを覚えてくれたのである▼認知症だとしても、新しいことを覚えることができる、おじいちゃんは教えてくれた。だから私はおじいちゃんと毎日話をする。何度同じことを聞かれても、おじいちゃんに教えてあげるのがいい。きっと新たな学びと喜びがあるに違いないから。

(み)